

# 平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

## ☆試合結果及び個人トータル表

女子	Eコート 第1試合 (1回戦)						
日時	平成27年2月14日						
会場	大津町総合体育館						
対戦結果	チーム名	得点	19	—	15	得点	チーム名
	福大若葉	83	25	—	15	72	熊本国府
			22	—	20		
			17	—	22		

チーム名						
福大若葉						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	永野 倫后	14		6	2	5
5	内尾 聡菜	20	1	8	1	2
6	福本 萌香					
7	渡辺 満里奈	24		11	2	2
8	笠井 桜可	6		3		
9	佐道 玲奈					
10	渡邊 芙美佳					
11	津村 真帆					
12	田中 聖奈					
13	神島 ありさ					
14	沼野 かえで	4		1	2	
15	二ノ宮 可南	15		7	1	2
16	瓜生 陽菜					
17	西村 菜々子					
18	熊本 りお					
合計		83	1	36	8	11

チーム名						
熊本国府						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	大槻 真子	24	5	4	1	5
5	岡西 華奈					
6	大内 梨奈					
7	松川 李奈	18		7	4	5
8	川端 美紗稀					
9	馬場 千咲					
10	内山 えみり	18	2	5	2	1
11	坂井 芙美佳					
12	池松 ほのか					
13	田中 千尋	4		2		1
14	福井 遥菜	2		1		
15	豊浦 夏実	2		1		2
16	馬場 美咲					
17	津田 結依					
18	阿武 未帆	4		1	2	1
合計		72	7	21	9	15

## ☆戦評

第1Q序盤国府オールコートマンツーマン、福大若葉はハーフコートマンでスタート。両チーム硬さがみられる中、福大若葉は⑦右ドライブ⑤リング下のショットで加点する。国府は長身者で固める若葉のディフェンスを崩せず、両チーム持ち味を發揮しないまま19-15若葉のリードで終了。第2Qは福大若葉⑤のセットシュートから始まり、徐々に福大若葉の速攻が決まりだす、国府もオールコートマンツーマンのディフェンスでパスカットを狙うが点差が縮まらない。福大若葉の厳しいディフェンスによりドライブが出来ず苦しい展開。福大若葉はゾーンディフェンスを機能し徐々に流れをつかみ30-44で福大若葉リードで折り返す。

後半に入り、何とか点差を縮めたい国府は⑦のシュート④のステップインなどで追い上げるが、なかなか点差を縮めることが出来ない。福大若葉は⑦、⑮が得点を重ねる。国府はあせりからかファールがかさみ相手に点数を与えてしまい50-66で3Q終了。最終Q出だし国府がオールコートプレスでシュートにつなげ、流れをつかみ7点差まで追いつく、福大若葉の④が退場後、国府が点差を縮めるが若葉が83-72で福大若葉が勝利を収めた。

担当者( 星子 紀子 )

# 平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

## ☆試合結果及び個人トータル表

女子	Fコート 第1試合 (1回戦)						
日時	平成27年2月14日						
会場	大津町総合体育館						
対戦結果	チーム名	得点	8	—	18	得点	チーム名
	鹿児島女子	51	11	—	26	80	長崎商業
			13	—	22		
			19	—	14		

チーム名						
鹿児島女子						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	中村 遥	9		3	3	3
5	江頭 凜音	4		2		3
6	今村 涼佳	0				
7	上園 絢美	18		6	6	
8	瀬戸口 未夏	6		3		1
9	奥 未紗	0				
10	中丸 奈津美	12	1	3	3	5
11	武 萌絵	0				
12	村田 響	0				
13	向井 星奈	0				
14	折田 那緒	0				
15	米澤 めい	0				
16	山之内 麗	2		1		
17	伊瀬知 聖菜	0				
18						
合計		51	1	18	12	12

チーム名						
長崎商業						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	永田 萌絵	17		8	1	
5	石飛 春奈	15		3	9	4
6	城添 穂花	12	1	3	3	2
7	喜多 伊綾	22	4	5		
8	平野 美月	2		1		2
9	津口 美於	5		2	1	2
10	荒木 美咲	1			1	5
11	野口 春菜	3	1			1
12	大町 彩夏					
13	成瀬 千瞳					
14	入口 純佳					
15	山田 杏子					
16	北村 朱里					
17	一瀬 帆乃美	3	1			
18	宮永 香那					
合計		80	7	22	15	16

## ☆戦評

第1Q: 両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。長崎商業は、#6ドライブ、#4、#5のミドルシュートから得点を重ねる。対する鹿児島女子は、緊張からなかなかシュートが決まらないが、#10ドライブからのファールを誘い、フリースローから得点する。長崎商業は、速い攻めと#7の3P、ミドルシュートを決め、鹿児島女子は中盤#16に交代しリズムを変えようとするが、オフェンスリバウンドに勝る長崎商業のリードで18対8と1Q終了。

第2Q: お互いハーフコートマンツーマンでスタート。序盤から長崎商業は#7の確率の高いシュートが決まり勢いに乗り、次々と得点を重ねる。一方、鹿児島女子は#10のミドルシュートなどでリズムを掴もうとするが、激しいディフェンスのまえに得点が伸びず、残り4分タイムアウト。タイムアウト後は、#7の高さを生かした攻めに転じるが、長崎商業の#4の1対1による得点によりリードを広げられ、44対19長崎商業のリードで2Q終了。

第3Q: 何とか点差を縮めたい鹿児島女子は、オールコートマンツーマンからの速い攻めに持ち込もうとするが、長崎商業の落ち着いた攻撃で#4が確実に得点し、追従にも慌てず点差を引き離し、長崎商業のリードで66対32と3Q終了。

第4Q: 長崎商業はハーフコートマンツーマン、鹿児島女子はオールコートマンツーマンでスタート。鹿児島女子は、速攻から#7のインサイドシュートにより得点を重ねる。一方、長崎商業は激しいディフェンスを掻い潜り点差をどんどん引き離す。鹿児島女子も最後の力を振り絞って追撃を試みるが力及ばず、80対51で長崎商業が勝利した。

担当者( 荒木 秀章 )

# 平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

## ☆試合結果及び個人トータル表

女子	Eコート 第2試合 (1回戦)						
日時	平成27年2月14日						
会場	大津町総合体育館						
対戦結果	チーム名	得点	20	—	10	得点	チーム名
	前原	74	20	—	8	36	中津北
			16	—	11		
			18	—	7		

チーム名						
前原						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	屋亘 ももこ	0	0	0	0	1
5	宮城 千奈	8	0	3	2	1
6	伊波 弘夏	0	0	0	0	0
7	富山 つかさ	4	0	2	0	1
8	崎原 莉姫	11	1	4	0	1
9	屋亘 可奈子	4	0	2	0	0
10	田原 佳奈	2	0	0	2	1
11	上原 ひかり	20	0	10	0	1
12	具志堅 ちとせ	4	0	2	0	0
13	仲地 莉音	1	0	0	1	0
14	大城 優衣	11	0	5	1	2
15	嘉陽 梨佳子	9	0	2	5	3
16	神田 美空	0	0	0	0	0
17	玉栄 彩	0	0	0	0	0
18	仲尾 陵香	0	0	0	0	1
合計		74	1	30	11	12

チーム名						
中津北						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	梶原 千加	6	2	0	0	2
5	宮本 遙	4	0	1	2	3
6	恩塚 奈菜	0	0	0	0	3
7	友成 佑香	10	1	3	1	2
8	光本 咲月	3	1	0	0	2
9	清本 優菜	0	0	0	0	0
10	中春 真実	7	1	2	0	0
11	友松 実佳	6	0	2	2	3
12	宮崎 真穂里	0	0	0	0	2
13		0				
14		0				
15		0				
16		0				
17		0				
18		0				
合計		36	5	8	5	17

## ☆戦評

第1Q、前原はインサイドにボールを集め着実に加点。一方、中津北はアウトサイドからのプレーで得点を狙うも、なかなかシュートが入らない。終盤は、前原の⑪上原のインサイドプレーが冴えわたり、20-10前原リードで第1Q終了。第2Q、前原は⑪上原、⑧崎原、⑭大城の3連続ポイントで波に乗る。対する中津北はドライブイン、アウトサイドのシュートで対抗するものの、シュートが入らず加点することができない。さらに、フロントコートからのゾーンプレスで前原のOFを崩しにかかるもうまくいかず、インサイドさらにアウトサイドからのシュートで前原が着実に加点した。40-18、前原リードで第2Q終了。

第3Q、中津北はDFをマンツーマンから1-3-1に変更。さらに得点後は1-2-1-1のゾーンプレスをしかけ、序盤こそ前原のミスを誘ったが、徐々に前原のOFもそれに適応し、中盤からは着実に加点した。中津北は⑦友成、⑩中春の3Pなどで応戦するも点差は縮まらなかった。56-29、前原のリードで第3Q終了。第4Q、疲れが見え始めた中津北に対して、前原は攻撃を緩めない。⑪上原、⑮嘉陽が要所で得点を重ねた。中津北は、⑧光本の3Pを皮切りに、OFを波に乗せたいところだったが、終始リズムをつかめず、74-36で前原が勝利を収めた。

担当者( 佃 隆樹 )

# 平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

## ☆試合結果及び個人トータル表

女子	Fコート 第2試合 (1回戦)						
日時	平成27年2月14日						
会場	大津町総合体育館						
対戦結果	チーム名	得点	6	—	23	得点	チーム名
	佐賀清和	70	16	—	20	79	延岡学園
			24	—	19		
			23	—	17		

チーム名						
佐賀清和						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	古館 瑞希	7	0	6	1	4
5	久野 智愛	0	0	0	0	0
6	山口 愛絵里	9	0	8	1	5
7	塘 千咲	0	0	0	0	0
8	江頭 みなみ	0	0	0	0	0
9	前田 司織	9	3	4	2	4
10	川副 奈々子	0	0	0	0	0
11	北川 莉子	0	0	0	0	0
12	中島 朱里	0	0	0	0	0
13	本田 久実	0	0	0	0	0
14	本田 万莉	24	3	18	3	4
15	松本 亜子	12	3	6	3	2
16	麻生 静風	0	0	0	0	0
17	吉岡 菜々子	0	0	0	0	0
18	三津山 由里子	9	3	6	0	3
合計		70	12	48	10	22

チーム名						
延岡学園						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	徳満 響希	2	0	0	2	2
5	ホクムリアマツタ	0	0	0	0	0
6	河原 真香	6	0	2	4	3
7	坂元 莉奈	0	0	0	0	0
8	柳田 波希	0	0	0	0	0
9	岩崎 みなみ	8	0	4	4	0
10	尾前 真優	2	0	2	0	0
11	小松 由奈	0	0	0	0	0
12	川本 幸希	0	0	0	0	0
13	木村 菜月	3	0	2	1	2
14	赤木 夏海	6	0	2	4	4
15	ニャン アラム	52	0	46	6	2
16	山本 侑佳	0	0	0	0	0
17	スナイダー 愛唯	0	0	0	0	0
18	東 由里佳	0	0	0	0	0
合計		79	0	58	21	13

## ☆戦評

1Q、延岡学園は⑮アラムのインサイドで先制、その後も⑮アラムにボールを集め⑥河原、⑨岩崎のドライブインからファールをもらうなど、フリースローとインサイドで得点を伸ばしていく。佐賀清和は序盤シュートが決まらず、延岡学園の高さに苦しんだ。⑮松本のミドルシュート、⑥山口のスチールからの速攻で得点するが、アウトサイドシュートがリングに嫌われ、23-6の延岡学園リードで1Qを終える。2Q、佐賀清和は、延学⑮アラムに対して、寄せの速いチームディフェンスでミスを誘い、⑮松本の3P、速い展開から④古館、⑭本田、⑥山口らの連続得点で9点差に迫った。しかし、延学⑭赤木、⑮アラムなどインサイドを中心とした得点で盛り返し、39-26、延岡学園がリードを保ったまま前半が終了した。

3Q、佐賀清和はディフェンスでのプレッシャーを強めた。ターンオーバーを奪い、⑨前田、④古館などがレイアップシュートを決めるものの、インサイドでのファールが増え、得点を詰めるに至らない。62-46で第3Qを終えた。4Q、佐賀清和は⑭松本の連続得点で点差を詰め、積極的にダブルチームをしかけ相手のミスを誘う。終盤にも佐賀清和⑭松本の連続得点などで9点差に迫るものの、延岡学園の⑮アラムを中心とした高さ到最后まで苦しみ、79-70で延岡学園が勝利した。

担当者( 佐々喬彦 )

# 平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

## ☆試合結果及び個人トータル表

Eコート 第3試合 (1回戦)							
日時	平成27年2月14日						
会場	大津町総合体育館						
対戦結果	チーム名	得点	14	—	17	得点	チーム名
	小林	70	17	—	15	62	精華女子
			17	—	21		
			22	—	9		

チーム名						
小林						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	夏井 麻朱	12		5	2	2
5	山田 有紀子	18		8	2	2
6	二又 ひなの	0				
7	渡口 杏奈	0				
8	大石 莉	8	2	1		2
9	松崎 扶美子	0				
10	外山 芹香	16	2	3	4	3
11	岩切 満梨乃	0				
12	中村 有希	0				
13	山本 真菜実	0				
14	六ヶ所 希望	0				
15	成崎 晶	0				
16	板井 朋絵	0				
17	伊達 蓮	0				
18	加治屋 千遥	16		6	4	2
合計		70	12	46	12	11

チーム名						
精華女子						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	栗原 颯生	19	4	3	1	1
5	笹木 倫	0				1
6	渡辺 由依菜	7	1	2		2
7	中村 有希	11	1	4		2
8	牛島 優佳	0				
9	屋宜 百合香	12	2	2	2	5
10	増田 和	2		1		
11	橋本 真彩	11		4	3	2
12	園田 雅	0				
13	後藤 桃夏	0				
14	山近 知弥	0				
15	大城 椎菜	0				
16	今隈 紀子	0				
17	坂口 楓花	0				
18	徳永 弥生	0				
合計		62	24	32	6	13

## ☆戦評

第1Q、両校ともハーフコートマンツーマンでディフェンスをスタート。お互い走り合いのバスケットで挑むが、得点が伸びない。精華は⑩橋本のハイポストからのミドルシュートやドライブなどで得点、小林は⑤山田、⑩加治屋のインサイドプレーやリバウンドからのシュートなどで得点。15-11精華リードで第1Q終了。

第2Qも、精華は⑩橋本のインサイド、④栗原のスリーポイントなどで加点するも、小林が激しいディフェンスからの速攻で得点を重ね、残り6分で追いつき、24-24。その後、速いテンポでゲームが展開。両校、メンバーチェンジから流れをつかもうとするも第2Qは32-31で精華リードで終了。

第3Q、両校ややプレッシャーを強めた形でディフェンスを継続。逆転、再逆転とめまぐるしく展開したが、残り3分から精華がオールコートマンツーマンに切り替えたことが奏効し、第3Qは53-48で精華が点差を開いて終了。

第4Qは、精華はオールコートマンツーマン、小林はハーフコートマンツーマンで入る。小林がディフェンスを上手くかいくぐり徐々に加点し、残り7分で1点差まで追いついた。タイムアウト後、精華は小林の④夏井に対し3-2ゾーンでプレッシャーをかけ、小林のオフェンスの流れを切ろうとする。第4Q終盤、精華は消極的なプレーからのミスが増え、小林が速攻で得点を重ね、残り4分で小林の7点リードとなった。精華は、ハーフコートでプレスをかけマイボールにするも、得点に結びつかず。最後は、精華がファールゲームで挽回を図るも小林が得点を重ね、70-62で小林が勝利した。

担当者(折尾知之)

# 平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

## ☆試合結果及び個人トータル表

Fコート 第3試合 (1回戦)							
日時	平成27年2月14日						
会場	大津町総合体育館						
対戦結果	チーム名	得点	9	—	23	得点	チーム名
	佐賀北	67	22	—	21	61	藤蔭
			21	—	12		
			15	—	5		

チーム名 佐賀北						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	中島 有香	7	1	2		2
5	脇山 舞子	12		5	2	3
6	真子 さつき	0				1
7	諸隈 沙希	10	1	2	3	3
8	向井 理翠	4		2		3
9	木塚 萌	16		6	4	2
10	山下 美空	4		2		
11	横尾 采佳	0				
12	友田 椎南	0				
13	高田 紗愛	0				
14	諸隈 愛加	14	2	4		
15	石橋 由妃	0				
16	馬場 真琴	0				
17	山口 千裕	0				
18	久野 莉央	0				
合計		67	4	23	9	14

チーム名 藤蔭						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	竹原 美紅	17		7	3	2
5	渡辺 りおん	29		12	5	3
6	工藤 瑞希	0				
7	日野 栞莉	3		1	1	3
8	若狭 美幸	3	1			2
9	森田 里奈	9	1	3		4
10	金納 千丈	0				1
11	前原 千尋	0				
12	麻生 留奈	0				
13	豆田 麗好	0				
14	西谷 真奈	0				
15	内田 蘭	0				
16		0				
17						
18		0				
合計		61	2	23	9	15

## ☆戦評

試合開始直後から両チーム激しい攻防となる。佐賀北はオールコート、藤蔭はハーフのマンツーマンディフェンス。先手を取ったのは藤蔭。センター⑤渡辺にボールを集めゴール下で着実に加点していく。佐賀北もパッシングから裏を狙いながら3Pを打つが決まらない。点が取れず焦る佐賀北は、なんでもないない場面でミスが出て5-12とされるとたまたまタイムアウト。監督から激しいゲキがとぶ。しかしその後もターンオーバーが止まらず23-9と藤蔭がリードし第2Qへ。佐賀北はディフェンスの動きがよくなり相手のターンオーバーを誘発するが、シュートを決めきれず流れをつかめない。藤蔭はディフェンスに苦しみながらも⑤渡辺が要所で加点し両チーム互角の展開となり44-31藤蔭リードで前半終了。第3Qは佐賀北が④中島の3Pを皮切りに相手を3分間ノーゴールに抑え、5連続ゴールで一気に2点差まで詰め寄る。藤蔭も④竹原⑤渡辺がインサイドで得点しリードは許さず白熱の展開となる。3Q終盤佐賀北は激しいディフェンスに加え、これまで支配されていたゴール下で⑤脇山が頑張りを見せ互角とし、完全に主導権を握る。勝負の第4Q両チーム硬さがみられるが、藤蔭はボール運びに苦戦しリズムがつかめず、佐賀北が相手のミスから得点を重ね残り5分ですぐに逆転する。藤蔭もディフェンスを厳しくするが、得点が取れず流れが変わらず試合終了。佐賀北の逆転勝利となった。両チーム持ち味を出した見応えのあるゲームであった。

担当者( 田口智之 )



# 平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

## ☆試合結果及び個人トータル表

女子	Eコート 第4試合 (1回戦)						
日時	平成27年2月14日						
会場	大津町総合体育館						
対戦結果	チーム名	得点	16	—	29	得点	チーム名
	鹿児島純心	89	23	—	20	94	純心
			25	—	24		
			25	—	21		

チーム名						
鹿児島純心女						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	中山 彩奈	40	1	15	7	4
5	田中 沙紀	4		1	2	1
6	竹中 彩絵	10		5		4
7	中村 百花	0				
8	白石 翔子	20		9	2	3
9	田原 ひまわり	0				
10	永井 美帆	15		6	3	2
11	村上 梨緒菜	0				
12	久保 愛后	0				
13	河野 葵	0				
14	郡山 零那	0				
15	松崎 仁美	0				
16	有村 萌花	0				
17	山本 晏南メイ	0				
18	藤園 瑠璃	0				
合計		89	1	36	14	14

チーム名						
純心						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	小林 栞	32	4	9	2	1
5	狩浦 美優	17		8	1	5
6	河嶋 なな	5	1	1		2
7	岩崎 ひなの	20	3	5	1	3
8	村井 美月	2		1		
9	岡部 美咲	2		1		2
10	西村 紗希子	0				
11	中山 裕捺	0				
12	今井 茉帆	0				
13	川上 麗樹	0				
14	五島 京香	0				
15	荒木 裕美	8		3	2	4
16	日高 理子	4		2		2
17	吉田 光	4		2		5
18	勝田 結菜	0				
合計		94	8	32	6	24

## ☆戦評

第1Q、両校とも出だしはオールコートマンツーマン。ファールやミスが目立つ。両校とも積極的に得点を狙っていたが、得点につなげられない。試合は膠着状態に入り、純心がリードのまま、29-16で終了。  
 第2Q、純心⑤狩浦のリバウンドシュート、⑦岩崎のスリーポイントが決まり、流れをつかむ。その後、鹿児島純心はゾーンディフェンスにより厳しいチェックを行い、純心はシュートを決められない。タイムアウト後、純心④小林がスリーポイントやミドルシュートを確実に決め、純心リードで49-39で終了。  
 第3Q、出だしは互いのミスが続く。その後、鹿児島純心のゾーンディフェンスを純心が上手く崩し、得点する。鹿児島純心は相手チームのファールをもらい、④中山のバスケットカウント及びフリースローで7点差まで縮め、73-64で終了。  
 第4Q、純心は、鹿児島純心のゾーンディフェンスをかいくぐり、④小林の確実なスリーポイントシュートから得点を重ねる。鹿児島純心は、シュートまでもっていくがなかなか得点に繋がらない。残り2分、速い展開での攻めを繰り返すが、両校ともシュートミスが目立つ。そのまま純心がリードし、94-89で試合終了。

# 平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

## ☆試合結果及び個人トータル表

女子	Fコート 第4試合 (1回戦)						
日時	平成27年2月14日						
会場	大津町総合体育館						
対戦結果	チーム名	得点	16	—	15	得点	チーム名
	糸満	55	15	—	14	67	慶誠
			15	—	21		
			9	—	17		

チーム名						
糸満						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	石島 京香	10	2	2		3
5	嶺井 明香里	0				1
6	島袋 夏帆	9	1	3		3
7	大城 喜美香	0				
8	稲嶺 葉月	11		5	1	1
9	島袋 由衣	0				
10	安里 優里香	8		4		3
11	大城 美聡	0				
12	高良 瑞希	0				
13	金城 美貴子	0				
14	伊敷 舞紀	0				
15	西筋 鈴花	17	2	5	1	3
16	上原 涼夏	0				
17	喜瀬 七夏海	0				
18	伊敷 鈴奈	0				
合計		55	5	19	2	14

チーム名						
慶誠						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	山野 萌	2		1		
5	村上 文香	2		1		
6	古田 なつみ	0				
7	井村 かれん	0				
8	岩本 いずみ	4		2		
9	生田 ひかる	0				
10	國松 愛依	0				1
11	野口 芙希	20		8	4	3
12	川口 百合亜	13		6	1	
13	前田 実里	0				
14	白石 楓夏	16		7	2	1
15	里 茜莉	10	1	3	1	1
16	中尾 うらら	0				
17	坂西 祐璃	0				
18	川本 和	0				
合計		67	1	28	8	6

## ☆戦評

第1Q:両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。慶誠高校は#14から#11のハイロープレイ、#8の速攻から得点。対する糸満高校は、#10がリバウンドシュートを決め対抗する。ともに激しいディフェンスでシュートが決まらずに、残り5分4対2とこう着状態。その後、糸満高校がオールコートマンツーマンでプレッシャーをかけると流れが変わり、#5シュート、#6のドライブで得点。慶誠高校は速攻のイージーシュートが決まらず、途中交代の#12の得点で点差を詰め、16対15と糸満高校のリードで1Q終了。

第2Q:糸満高校はハーフコートマンツーマンに戻し、#8、#4の3Pシュートでスタートした。一方、慶誠高校は長身を生かした#14シュート、#4の速攻で得点し、慶誠高校が逆転すると残り6分糸満高校がタイムアウト。途中、糸満高校の#10のカットから速攻もあり、31対29と糸満高校のリードで2Q終了。

第3Q:後半お互いハーフコートマンツーマンでスタート。慶誠高校は前半同様に長身の#14にボールを集め、リング下のシュートで得点。糸満高校は、オールコートマンツーマンに変えリズムを掴もうとするが、流れは変わらず一進一退のまま、50対46と慶誠高校のリードで3Q終了。

第4Q:両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。慶誠高校のリバウンドシュート、速攻が決まり始め点数を重ねる。中盤、10点差をリードするとその後も長身の慶誠高校のリバウンドの強さが目立ち、67対55で勝利した。

担当者( 荒木 秀章 )



# 平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

## ☆試合結果及び個人トータル表

女子	Eコート 第5試合 (2回戦)						
日時	平成27年2月14日						
会場	大津町総合体育館						
対戦結果	チーム名	得点	16	—	19	得点	チーム名
	福大若葉	76	24	—	15	73	長崎商業
			16	—	25		
			20	—	14		

チーム名						
福大若葉						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	永野 倫后	14	1	5	1	1
5	内尾 聡菜	38	1	15	5	0
6	福本 萌香	0	0	0	0	0
7	渡辺 満里奈	8	0	3	2	4
8	笠井 桜可	0	0	0	0	0
9	佐道 玲奈	0	0	0	0	0
10	渡邊 芙美佳	0	0	0	0	0
11	津村 真帆	0	0	0	0	0
12	田中 聖奈	0	0	0	0	0
13	神島 ありさ	0	0	0	0	0
14	沼野 かえで	8	0	4	0	2
15	二ノ宮 可南	8	0	4	0	4
16	瓜生 陽菜	0	0	0	0	0
17	西村 菜々子	0	0	0	0	0
18	熊本 りお	0	0	0	0	0
合計		76	2	31	8	11

チーム名						
長崎商業						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	永田 萌絵	19	1	6	4	4
5	石飛 春奈	18	0	8	2	2
6	城添 穂花	14	3	2	1	1
7	喜多 伊綾	22	6	2	0	2
8	平野 美月	0	0	0	0	2
9	津口 美於	0	0	0	0	0
10	荒木 美咲	0	0	0	0	1
11	野口 春菜	0	0	0	0	0
12	大町 彩夏	0	0	0	0	0
13	成瀬 千瞳	0	0	0	0	0
14	入口 純佳	0	0	0	0	0
15	山田 杏子	0	0	0	0	0
16	北村 朱里	0	0	0	0	0
17	一瀬 帆乃美	0	0	0	0	0
18	宮永 香那	0	0	0	0	0
合計		73	10	18	7	12

## ☆戦評

第1Q、長崎商業は④永田の2連続ゴールで幸先よいスタートを切る。その後は、福大若葉が⑤内尾のインサイドプレイ、長崎商業が④永田の3P、⑤石飛のインサイドプレイなどで加点し、結局、16-19、長崎商業リードで第1Q終了。第2Q、福大若葉は、④永野の3P、⑤内尾、⑮二ノ宮のゴールで、開始早々逆転し7点差をつける。対する長崎商業は、⑥城添、⑦喜多の3Pで応戦するなど、一進一退の攻防を繰り返し、結局40-34、福大若葉リードで第2Q終了。

第3Q、福大若葉は⑭沼野のインサイドプレイで先制するも、直後に長崎商業は④永田、⑦喜多、⑥城添の連続ゴールでくらくらいつく。福大若葉はDFをマンツーマンから1-2-2に変更し、長崎商業のOFのリズムを崩しにかかるが、長崎商業⑦喜多の3Pが立て続けに決まる。福大若葉はインサイドにボールを集めるが、高さを生かせず、残り2分、長崎商業⑦喜多の3Pでついに1点リードを許す。さらにその後、速攻で⑤石飛のレイアップが決まり、56-59、長崎商業3点リードで第3Q終了。

第4Q、福大若葉は⑤内尾の連続ゴールで一時は逆転するが、長崎商業が⑥城添の3Pなどで、再びリードする。さらに、長崎商業は⑤石飛のバスケットカウント、④永田のゴールで、7点差にリードを広げる。残り2分、5点ビハインドで福大若葉がタイムアウトをとる。その直後、福大若葉⑦渡辺のゴールが決まり、オールコートのゾーンプレスをしかける。それに上手く対応できなかった長崎商業がミスを繰り返す間に、福大若葉は⑤内尾、⑭沼野の連続ゴールで一気に逆転し、結局、76-73で福大若葉が粘る長崎商業を振り切り、勝利を収めた。

担当者( 佃 隆樹 )

# 平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

## ☆試合結果及び個人トータル表

女子	Fコート 第5試合 (2回戦)						
日時	平成27年2月14日						
会場	大津町総合体育館						
対戦結果	チーム名	得点	17	—	25	得点	チーム名
	前原	77	14	—	12	82	延岡学園
			23	—	21		
			23	—	24		

チーム名						
前原						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	屋亘 ももこ	0	0	0	0	1
5	宮城 千奈	11	3	8	0	3
6	伊波 弘夏	0	0	0	0	0
7	富山 つかさ	10	6	4	0	3
8	崎原 莉姫	16	6	8	2	4
9	屋亘 可奈子	0	0	0	0	0
10	田原 佳奈	0	0	0	0	0
11	上原 ひかり	25	0	22	3	4
12	具志堅 ちとせ	0	0	0	0	0
13	仲地 莉音	0	0	0	0	0
14	大城 優衣	9	0	8	1	2
15	嘉陽 梨佳子	6	0	6	0	5
16	神田 美空	0	0	0	0	0
17	玉栄 彩	0	0	0	0	0
18	仲尾 陵香	0	0	0	0	0
合計		77	15	56	6	22

チーム名						
延岡学園						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	徳満 響希	0	0	0	0	0
5	ホクムリアマツダ	0	0	0	0	0
6	河原 真香	8	0	4	4	1
7	坂元 莉奈	0	0	0	0	0
8	柳田 波希	0	0	0	0	0
9	岩崎 みなみ	19	3	12	4	1
10	尾前 真優	4	0	4	0	3
11	小松 由奈	0	0	0	0	0
12	川本 幸希	0	0	0	0	0
13	木村 菜月	7	3	2	2	1
14	赤木 夏海	6	0	6	0	4
15	ニャン アラム	38	0	34	4	4
16	山本 侑佳	0	0	0	0	0
17	対イター 愛唯	0	0	0	0	0
18	東 由里佳	0	0	0	0	0
合計		82	6	62	14	14

## ☆戦評

延岡学園、前原ともにハーフマンツーマンでスタート。延岡⑮アラムのバスケットカウントで先制すると、インサイドにボールを集め得点を重ねる。前原も⑪上原のドライブイン、⑮嘉陽のレイアップシュートなどで得点するが、徐々に延岡に引き離され25-17で1Qを終える。2Q、延岡は、インサイドにボールを集めると前原のセンター⑮嘉陽が3つ目のファールでベンチに下がる。ファール2つの延岡⑮アラムも一旦ベンチに退くと、延岡の得点が伸び悩む。一進一退の攻防が続くが、最後は前原⑪上原のミドルショットなどで得点を詰めて37-31、延岡学園がリードして前半を終えた。

3Q、前原は⑧屋亘のバスケットカウントなどで点差を詰めるものの⑮アラムの得点などで点差を広げる。延岡⑮アラムがファールでベンチに下がる、前原はオールコートプレスで流れを引き寄せ、⑭大城のミドルシュート、⑤宮城の3P、速攻などで同点とするも58-54の延岡学園がリードを保った。4Q、延岡⑨岩崎の3P、⑥河原のフリースローで得点し、⑮アラムも得点しリードを広げる。前原は積極的にダブルチームをししかけミス誘い、⑧崎原のバスケットカウントや⑪上原の得点で追いついたが、延岡は⑨岩崎のバスケットカウントなどで加点し、82-77で逃げ切った。

担当者( 佐々 喬彦 )

# 平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

## ☆試合結果及び個人トータル表

女子	Eコート 第6試合 (2回戦)						
日時	平成27年2月14日						
会場	大津町総合体育館						
対戦結果	チーム名	得点	22	—	18	得点	チーム名
	小林	88	25	—	9	65	佐賀北
			21	—	15		
			20	—	23		

チーム名						
小林						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	夏井 麻朱	0				
5	山田 有紀子	12		6		5
6	二又 ひなの	2		1		1
7	渡口 杏奈	3		1	1	
8	大石 莉	12	2	3		1
9	松崎 扶美子	6	2			
10	外山 芹香	14	1	4	3	1
11	岩切 満梨乃	8		4		2
12	中村 有希	0				
13	山本 真菜実	10		5		1
14	六ヶ所 希望	2		1		
15	成崎 晶	7		3	1	
16	板井 朋絵	0				
17	伊達 蓮	0				
18	加治屋 千遥	12		6		
合計		88	5	34	5	11

チーム名						
佐賀北						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	中島 有香	9	1	2	2	1
5	脇山 舞子	4		2		1
6	真子 さつき	2		1		1
7	諸隈 沙希	8		4		3
8	向井 理翠	7		3	1	
9	木塚 萌	16	2	5		1
10	山下 美空	0				
11	横尾 采佳	0				
12	友田 椎南	0				
13	高田 紗愛	0				
14	諸隈 愛加	19	4	3	1	2
15	石橋 由妃	0				
16	馬場 真琴	0				1
17	山口 千裕	0				
18	久野 莉央	0				
合計		65	7	20	4	10

## ☆戦評

第1Q、両校ともハーフコートマンツースタート。佐賀北はシュートチャンスがあるも得点がなかなかできない。一方、小林は⑩鍛冶屋のリバウンドからのシュートやミドルシュート、⑤山田のパスランからのシュートなどで着実に点数を伸ばす。佐賀北は、残り4分でタイムアウトをとった後、⑤脇山の連続得点、⑨木塚のスリーポイントなどで点差を詰める。22-18で小林リードで終了。

第2Q、序盤は小林の攻撃が次々に成功し、点差がじわじわ開く。佐賀北は、タイムアウトやメンバーチェンジなどで流れを作ろうとするが、点差を詰めるに至らず。47-27で小林20点差リードで折り返す。

第3Q、両校ともオールコートとハーフコートを織り交ぜたディフェンスを展開。佐賀北は、小林のゾーンディフェンスになかなか対応できず点が取れない。一方、小林は、リバウンドからの速攻などで点差を開く。小林26点リードで終了。

第4Q、小林が開始後4分あまり得点できずに立ち往生。佐賀北は、ルーズボールからの速攻やスリーポイントで連続得点し、追い上げムードとなった。しかし、その後はシュートの打ち合いとなり点差は縮まらず、88-65で試合終了。

担当者( 折尾 知之 )

# 平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

## ☆試合結果及び個人トータル表

女子	Fコート 第6試合 (2回戦)						
日時	平成27年2月14日						
会場	大津町総合体育館						
対戦結果	チーム名	得点	18	—	18	得点	チーム名
	純心	72	15	—	13	73	慶誠
			19	—	23		
			20	—	19		

チーム名						
純心						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	小林 栞	22	2	7	2	4
5	狩浦 美優	13		6	1	5
6	河嶋 なな	0				
7	岩崎 ひなの	24	2	5	8	2
8	村井 美月	0				
9	岡部 美咲	0				
10	西村 紗希子	0				
11	中山 裕捺	0				
12	今井 茉帆	0				
13	川上 麗樹	0				
14	五島 京香	0				
15	荒木 裕美	6		2	2	3
16	日高 理子	3	1			1
17	吉田 光	4		2		4
18	勝田 結菜	0				
合計		72	5	22	13	19

チーム名						
慶誠						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	山野 萌	0				1
5	村上 文香	0				
6	古田 なつみ	0				
7	井村 かれん	0				
8	岩本 いずみ	5	1	1		1
9	生田 ひかる	0				
10	國松 愛依	0				
11	野口 芙希	21		7	7	4
12	川口 百合亜	8		4		1
13	前田 実里	0				
14	白石 楓夏	31		14	3	3
15	里 茜莉	6		2	2	2
16	中尾 うらら	0				
17	坂西 祐璃	2		1		3
18	川本 和	0				
合計		73	1	29	12	15

## ☆戦評

両チームマンツーマンでスタート。慶誠は⑭白石にボールを集めインサイドで得点を重ねれば、純心は時折ゾーンプレスを織り交ぜ慶誠のターンオーバーを誘発し、④小林がスティールから連続ゴールを決めるなど序盤から一進一退の見応えのあるゲームとなる。慶誠のインサイド対純心のアウトサイドの展開となり第1Qは18-18で終了する。第2Qも両チーム譲らず、なかなか点数が入らない我慢の展開となる。純心は慶誠のインサイドに対してファウルが重なるが、慶誠も純心のドライブに対してファウルを重ねどちらも流れをつかめないまま前半は33-31純心リードで折り返す。第3Qに入ると慶誠の⑭白石がインサイドで得点、また相手のファウルを誘い、純心のインサイド陣はファウルトラブルとなり後手に回る。ジリジリと点差が広がりはじめ、9点差となるが、純心はハーフのディフェンスを2-3ゾーンに切り替え、前から1-2-1-1、2-2-1のプレスを使い分け、攻めては④小林がドライブ、3Pを連続で決め食らいつき、再び2点差とする。その後も一進一退の攻防が続き54-52の慶誠リードで最終Qを迎える。大事な場面が続くが慶誠は⑫川口を投入しインサイドを3枚にしゴール下で優位に立つ、しかし純心も⑦井村の連続3P、⑩中尾の3Pで一歩も譲らずもつれたまま終盤に突入する。どちらも素晴らしい集中力でシュート決めシーソーゲームとなり会場もヒートアップする。最後は逆転を狙った純心のシュートが外れ、それでもボールを奪いにいきルーズボールとなるがタイムアップとなり、慶誠が大接戦をものにした。

# 平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

## ☆試合結果及び個人トータル表

女子	Eコート 第2試合 (準決勝)						
日時	平成27年2月15日						
会場	大津町総合体育館						
対戦結果	チーム名	得点	14	—	21	得点	チーム名
	福大若葉	75	12	—	15	59	延岡学園
			26	—	7		
			23	—	16		

チーム名						
福大若葉						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	永野 倫后	14	0	5	4	1
5	内尾 聡菜	31	1	14	0	2
6	福本 萌香	0	0	0	0	0
7	渡辺 満里奈	16	0	7	2	3
8	笠井 桜可	0	0	0	0	1
9	佐道 玲奈	0	0	0	0	0
10	渡邊 芙美佳	2	0	1	0	0
11	津村 真帆	0	0	0	0	1
12	田中 聖奈	0	0	0	0	1
13	神島 ありさ	0	0	0	0	0
14	沼野 かえで	6	0	3	0	0
15	二ノ宮 可南	6	0	3	0	0
16	瓜生 陽菜	0	0	0	0	0
17	西村 菜々子	0	0	0	0	0
18	熊本 りお	0	0	0	0	0
合計		75	1	33	6	9

チーム名						
延岡学園						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	徳満 響希	0	0	0	0	1
5	ホクウムリアマツダ	0	0	0	0	0
6	河原 真香	3	1	0	0	0
7	坂元 莉奈	0	0	0	0	0
8	柳田 波希	0	0	0	0	0
9	岩崎 みなみ	15	1	5	2	1
10	尾前 真優	2	0	1	0	0
11	小松 由奈	0	0	0	0	0
12	川本 幸希	0	0	0	0	0
13	木村 菜月	10	3	0	1	3
14	赤木 夏海	8	0	4	0	1
15	ニャン アラム	21	0	8	5	2
16	山本 侑佳	0	0	0	0	0
17	対イター 愛唯	0	0	0	0	0
18	東 由里佳	0	0	0	0	0
合計		59	5	18	8	8

## ☆戦評

第1Q、延岡学園⑥河原の3Pでゲームが始まり、190cmの⑮ニャンを中心にリバウンドを奪って流れを掴んだ。一方、福大若葉は平均身長の高さを活かして攻めようとするが、延岡学園⑮ニャンを意識するあまりシュートが決まらず、延岡学園にリードを許して、第1Q終了。第2Q、流れを変えたい福大若葉は1-2-2のハーフコートゾーンで延岡学園⑮ニャンの高さを活かしたプレーを抑え、⑤内尾の活躍で中盤1点差まで点差を縮めた。延岡学園は福大若葉に追いつかれた直後にタイムアウトを取り、簡単にシュートを打たせない粘り強い1-2-2のハーフコートゾーンで応戦し、⑨岩崎の外からのシュートが効果的に決まり、リードを10点差に広げて、第2Q終了。中々波に乗れない福大若葉はハーフタイム中、池田監督が策を講じ続けた。第3Q、立ち上がりから福大若葉は、ポールマンに対するプレッシャーを強くし、インサイドにパスを入れさせないようなディフェンスと⑤内尾・⑦渡辺の速攻を中心にしたオフェンスが上手く機能し、一機に逆転。延岡学園は、⑮ニャンのポストプレーしか決め手が無くなり点数が伸びず、逆転を許した残り4分にタイムアウトで流れを変えようと試みるも福大若葉に譲った流れを取り戻すことなく、第3Q終了。第4Q、第3Qの流れのまま福大若葉が⑤内尾の4連続速攻で完全に延岡学園を突き放した。延岡学園も⑬木村の3Pで追いかけようとしたが、⑮ニャンにボールを集めることができず、点差を縮めることができなかった。福大若葉は終盤に選手交代しながらも延岡学園から逃げ切り、75-59で福大若葉が勝利を収めた。

担当者( 村山 康徳 )

# 平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

## ☆試合結果及び個人トータル表

女子	Fコート 第2試合 (準決勝)						
日時	平成27年2月15日						
会場	大津町総合体育館						
対戦結果	チーム名	得点	27	—	8	得点	チーム名
	小林	77	21	—	19	63	慶誠
			15	—	19		
			14	—	23		

チーム名						
小林						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	夏井 麻朱	0	0	0	0	0
5	山田 有紀子	14	0	7	0	3
6	二又 ひなの	0	0	0	0	0
7	渡口 杏奈	0	0	0	0	0
8	大石 莉	13	3	0	4	1
9	松崎 扶美子	3	1	0	0	1
10	外山 芹香	30	6	4	4	2
11	岩切 満梨乃	3	0	1	1	2
12	中村 有希	0	0	0	0	0
13	山本 真菜実	1	0	0	1	1
14	六ヶ所 希望	2	0	1	0	1
15	成崎 晶	0	0	0	0	0
16	板井 朋絵	0	0	0	0	0
17	伊達 蓮	0	0	0	0	0
18	加治屋 千遥	11	0	5	1	1
合計		77	10	18	11	12

チーム名						
慶誠						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	山野 萌	4	0	2	0	0
5	村上 文香	4	0	2	0	1
6	古田 なつみ	0	0	0	0	0
7	井村 かれん	0	0	0	0	0
8	岩本 いずみ	0	0	0	0	1
9	生田 ひかる	8	0	4	0	1
10	國松 愛依	0	0	0	0	1
11	野口 芙希	13	0	6	1	3
12	川口 百合亜	0	0	0	0	0
13	前田 実里	0	0	0	0	0
14	白石 楓夏	10	0	5	0	1
15	里 茜莉	13	0	5	3	2
16	中尾 うらら	11	1	3	2	0
17	坂西 祐璃	0	0	0	0	0
18	川本 和	0	0	0	0	0
合計		63	1	27	5	10

## ☆戦評

第1Q、両チームハーフコートマンツーマンでスタート。小林⑤山田のポストプレーで先制。対する慶誠は⑮里の冷静なドライブで点を返す。その後小林は、⑤山田、⑱加治屋のポストプレー、⑧大石、⑩外山の3Pと中外バランスの良い攻めで11-2と引き離し慶誠がタイムアウト。立て直しを図るが、小林の徹底したディフェンスに持ち味を発揮出来ず27-8小林リードで第1Q終了。

第2Q、出だし慶誠は⑭白石のポストプレー、⑮里のミドルシュートで徐々に流れを掴みだす。しかし小林は⑩外山の3連続3Pでゴールを量産する。慶誠はたまたま前半2つ目のタイムアウトを取り、セットプレーで⑭白石、⑪野口のゴール下、⑮里のミドルシュートで盛り返すも追いつくことが出来ず48-27で前半を折り返す。

第3Q、小林はゾーンディフェンスに切り替え、中を縛る徹底したディフェンスの手を緩めない。慶誠は戸惑うが、⑮里の落ち着いたゲームメイクで攻略しだし、⑭白石、⑯中尾の3Pで加点し58-42と追い上げる。しかし、第3Q終盤、慶誠の仲間同士の呼吸が合わずミスを連発。波に乗れず63-46で第3Q終了。

第4Q、慶誠は激しくディフェンスをすることで小林のミスを生み出し、⑮里、⑨生田のパスカットから速攻を決める。対する小林は、中外の絶妙なコンビネーションから、またも⑩外山の2連続3Pを沈め、確実に得点を重ねる。対する慶誠は⑤村上のゴール下、⑮里のドライブなどで必死に食い下がるが、小林の余裕あるゲーム運びに対抗出来ず、77-63で小林が決勝に駒を進めた。

担当者(内田 貴子)



# 平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

## ☆試合結果及び個人トータル表

女子	Fコート 第4試合 (シード決定戦)						
日時	平成27年2月15日						
会場	大津町総合体育館						
対戦結果	チーム名	得点	17	—	16	得点	チーム名
	延岡学園	69	19	—	10	57	慶誠
			19	—	11		
			14	—	20		

チーム名						
延岡学園						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	徳満 響希	0	0	0	0	0
5	ホクウマリアマツダ	0	0	0	0	0
6	河原 真香	4	0	2	0	3
7	坂元 莉奈	0	0	0	0	0
8	柳田 波希	10	2	1	2	0
9	岩崎 みなみ	2	0	1	0	2
10	尾前 真優	6	0	3	0	4
11	小松 由奈	0	0	0	0	0
12	川本 幸希	0	0	0	0	0
13	木村 菜月	12	1	0	9	1
14	赤木 夏海	2	0	1	0	4
15	ニャン アラム	33	0	12	9	3
16	山本 侑佳	0	0	0	0	0
17	スライダー 愛唯	0	0	0	0	0
18	東 由里佳	0	0	0	0	0
合計		69	3	20	20	17

チーム名						
慶誠						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	山野 萌	0	0	0	0	0
5	村上 文香	4	0	1	2	2
6	古田 なつみ	0	0	0	0	0
7	井村 かれん	0	0	0	0	0
8	岩本 いずみ	0	0	0	0	2
9	生田 ひかる	3	0	1	1	2
10	國松 愛依	0	0	0	0	0
11	野口 芙希	12	0	3	6	3
12	川口 百合亜	10	0	4	2	3
13	前田 実里	0	0	0	0	0
14	白石 楓夏	10	0	5	0	4
15	里 茜莉	12	0	6	0	4
16	中尾 うらら	6	2	0	0	2
17	坂西 祐璃	0	0	0	0	0
18	川本 和	0	0	0	0	0
合計		57	2	20	11	22

## ☆戦評

第1Q、慶誠は延岡学園⑮ニャンの高さに対応するために2-3のハーフコートゾーンディフェンスで応戦、2連続バスケットカウントで活躍していた慶誠⑪野口が、残り2分に怪我のためコートアウト。一方、延岡学園は、⑪野口のコートアウトを皮切りに⑮ニャンにボールを集め、慶誠からファウルをもらう等の活躍によって、逆転して第1Q終了。第2Q、延岡学園のペースで試合は進んだ。延岡学園は、⑬木村の果敢なドライブインで得点を追加、⑧柳田の2連続3Pで点差を広げた。慶誠は、⑮里のインサイドプレーで対抗するも、残り7分に⑭白石が4ファウルでコートアウトすると⑮ニャンの高さを活かしたプレーの前にファウルを重ねる結果となり、フリースローを着実に決められ、点差を広げられる結果となって、第2Q終了。第3Q、延岡学園は、⑧柳田・⑬木村の早い攻めにより慶誠に流れを譲らず、慶誠は延岡学園から流れを取り戻すために残り6分にタイムアウトと4ファウルの⑭白石をコートに戻した。しかし、延岡学園の⑮ニャンを抑えることができず点差は最大の18点と広がり、第3Q終了。第4Q、慶誠はオールコートプレスで勝負を仕掛け、延岡学園のミスを誘い点差を10点まで縮めた。延岡学園は中々ボールを前に運ぶことができなかったが、徐々に慶誠のオールコートプレスに対応し始め、⑮ニャンのリバウンドシュートが何度もチームを救った。終盤、慶誠⑨生田の激しいディフェンスと⑮里の個人技で点差を詰めたが、一試合を通して、大事な場面で延岡学園の⑮ニャンの高さにやられてしまった結果となり、69-57で延岡学園が勝利を収めた。

担当者( 村山 康徳 )

# 平成26年度 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

## ☆試合結果及び個人トータル表

女子	Eコート 第4試合 (決勝)						
日時	平成27年2月15日						
会場	大津町総合体育館						
対戦結果	チーム名	得点	12	—	18	得点	チーム名
	福大若葉	54	16	—	20	72	小林
			12	—	22		
			14	—	12		

チーム名						
福大若葉						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	永野 倫后	13	1	4	2	5
5	内尾 聡菜	24	2	9	0	3
6	福本 萌香					
7	渡辺 満里奈	3	1	0	0	3
8	笠井 桜可	2	0	1	0	1
9	佐道 玲奈					
10	渡邊 芙美佳					
11	津村 真帆					
12	田中 聖奈					
13	神島 ありさ					
14	沼野 かえで	10	0	5	0	0
15	二ノ宮 可南	2	0	1	0	3
16	瓜生 陽菜					
17	西村 菜々子					
18	熊本 りお					
合計		54	4	20	2	15

チーム名						
小林						
番号	氏名	得点	3P	2P	自投	反則
4	夏井 麻朱	8	1	2	1	1
5	山田 有紀子	26	0	13	0	3
6	二又 ひなの					
7	渡口 杏奈					
8	大石 莉	9	1	3	0	0
9	松崎 扶実子					
10	外山 芹香	12	1	3	3	2
11	岩切 満梨乃	2	0	0	2	0
12	中村 有希					
13	山本 真菜実					
14	六ヶ所 希望					
15	成崎 晶					
16	板井 朋絵					
17	伊達 蓮					
18	加治屋 千遥	15	0	7	1	2
合計		72	3	28	7	8

## ☆戦評

両チームともハーフマンツゥでスタート。互角の戦いが続くが小林は⑤山田インサイド、④夏井の3Pを皮切りに11連続得点で先手を取る。小林⑤山田は10得点の活躍で18-12、小林がリードし1Qを終える。2Q、福大若葉はターンオーバーが続き流れを作れない。小林は⑩加治屋のインサイド、⑩外山の3Pなどで加点する。福大若葉は④永野の3Pも直後に小林④夏井がドライブインからバスケットカウントで返し、互角の展開ながらも小林がリードが続く。終盤に⑤山田、⑩外山のアウトサイドシュートがまとまった小林がリードを広げ、38-28で前半を終了した。

後半、小林は⑤山田、④夏井、⑩外山など次々と得点し、3Q開始4分で小林が20点差をつける。福大若葉は攻め手を欠き、効果的に得点することが出来ない。オールコートで積極的なディフェンスをしかけるも、流れは変わらず、⑩加治屋のバスケットカウントなどでさらに加点した小林が最大25点差をつける。福大若葉は⑤内尾が3Qで9点と一人気を吐くも60-40の小林リードのまま3Qを終えた。4Q、福大若葉は3-2ゾーンから積極的なダブルチームや、オールコートでプレッシャーをかけにいくが、効果的には決まらない。このまま小林がリードを保ったままタイムアップ、72-54で小林高校が優勝した。